

葉っぱが違うぞ！

学校法人岩崎学園 くりの木幼稚園（千葉県柏市）

[5歳児]

<背景>

- 5歳児は過去3年間、野菜などの栽培活動を行っている。
- 保育者間での共通理解・・・栽培活動の際は、子どもたちの話し合いや意見を最大限大切にする。

<事前の様子>5歳児みんなで話し合い、栽培する野菜などを次のように決めた。

- 大きく育つ野菜(キャベツやブロッコリーなど)、数がたくさん採れる野菜(ピーマンやナスなど)から1つずつ選び、各クラス2種類ずつ栽培をする
 - 栽培する野菜…つき組:枝豆とカリフラワー／ほし組:ブロッコリーとナス／にじ組:紫キャベツとカラーピーマン
- ※各クラスでの栽培と同時に、個人での栽培も進めていく。

【関連事例】実践事例集 vol.8 P33

	子どもの様子	援助(・) 読み取り(*)
葉っぱが違うぞ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土に苗を植えてそれぞれの野菜について観察が始まる。「こっちの葉っぱとこっちの葉っぱよく見て。違うでしょ？」と気付く子どもがいる。全員でよく観察してみると微妙な違いだが、葉っぱの下部に切れ込みがあるものがブロッコリー、無いものがキャベツである。また、「大根の葉っぱにも似てるよね〜」「こんな赤ちゃんの時から僕はキャベツ！私はブロッコリー！って決まってるんだね」「キャベツなのに間違えてブロッコリーになっちゃったりしないのかな？」という意見も出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ *同じに見えてしまう葉っぱではあるが、細かい観察によって見つけられた違いである。普段は見逃されてしまうことも、自然の中では微妙な差異が大きな相違に変化していくことに注目していきたい。
カリフラワーとブロッコリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ つき組はカリフラワーを作ることになる。しかし、冬野菜ということを知り、みんなで相談する。「別の野菜に切り替えてもいい」という声があったが、「上手くできるかもしれないし、やってみたい」と言う言葉に他の子どもたちも同意し、チャレンジしてみることになる。 ・ 作る前に子どもたちから疑問が出る。「カリフラワーはどうして白いの？」「最初はカリフラワーで、それから色が変わってブロッコリーになるんじゃない？」「ブロッコリーとカリフラワーは同じもの？」「スーパーでは別な所で売ってるよ」 ・ どうして白くなるのか考えてもわからず、「畑のおばちゃんや園長先生に相談したり、お父さんやお母さんに聞いてみたりしよう」ということになる。 ・ ほし組はブロッコリーを作ることになったので「見比べてみよう！」ということになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べてみるとカリフラワーは冬の野菜らしく、夏に向けて作るのは無理ではないか？と疑問を投げかける。 
虫との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水やりと同時に「野菜を食べてしまう虫をパトロールしよう！」という意見が子どもたちから出る。毎日のパトロールの中で「虫がいる！」「今日は2匹見つけた！」「葉っぱの裏にいるみたい」「かわいそうだけど野菜が食べられたら大変だ！」などと言い、アオムシだけでなく、緑で半透明な虫、アオムシに似た白いラインの入ったものなど「虫と言ってもいろいろな色、形の虫がいる」ことを発見する。 ・ ブロッコリーと紫キャベツは順調に育つ。カリフラワーは葉っぱが50センチ以上になるが、食べる所は一向に育たない。子どもも保育者も「葉っぱばかりだ」「やっぱり夏は育たないのかも」「何か足りないんじゃない？」と収穫できるのか不安になり、調べたり試したりする。(その後覆いをし、白いカリフラワー作りに成功する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水やりは保育者からグループ毎に取り組みむように投げかけ、みんなで取り組むという意識付けを行なう。 ・ カリフラワーのことを子どもたちと考え合う。 
気付き	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロッコリーを収穫する。収穫したブロッコリーを見て「小さい粒々がいっぱいだね。この粒は何になるんだろう？」と疑問をもつ子どもがいる。全てを収穫するのではなく、残して経過を観察することにする。やがて緑の蕾は伸びて花になった。「緑のつぶつぶは花」「花は黄色」「ブロッコリーは花がいっぱい集まってる」と気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ *グループ毎に水やりや虫捕りを続けた結果、販売しているような虫食いの無いブロッコリーを作ることができた。

みどころ

自分たちで考えて栽培をすることで、幼児なりに気付いたり疑問をもったり、意欲的に栽培活動をしています。栽培している野菜の葉や生長の様子に着目することで、他の野菜にも関心が向き、実際に栽培しなければ感じられないことに気付き、疑問や学びが深まっています。